

平成 30 年 2 月 9 日

ワンストップ特別セミナー「IFRS の実務、移行経験の共有 2018」の開催について

一般財団法人会計教育研修機構

当財団では、平成 29 年 3 月 10 日（金）及び 28 日（火）に、金融庁をはじめ関係諸団体のご協力を得て、IFRS への移行を検討している企業やその関係者を中心に、ワンストップ特別セミナー「IFRS 移行経験の共有～IFRS への移行を円滑に進めるために～」を開催し、延べ 1,526 名の方の参加がありました。

今年度の「未来投資戦略 2017」（平成 29 年 6 月 9 日閣議決定）においても、我が国の会計基準の品質向上を図る観点から、国際会計基準（IFRS）の任意適用企業の拡大促進等に向けた取組みの推進が盛り込まれ、引き続き、関係者において様々な施策の検討が行われています。

当財団では、昨年に引き続き、金融庁をはじめ関係諸団体のご協力を得て、IFRS の実務や移行経験の共有化を図り、移行を検討している企業やその関係者が抱えている諸問題の解決の一助となるワンストップ特別セミナー「IFRS の実務、移行経験の共有 2018」を平成 30 年 3 月 12 日及び 16 日に開催します。

(1) プログラム

○平成 30 年 3 月 12 日（月） 10 時 30 分～17 時 30 分

セッション 1	開会挨拶（JFAEL 理事長 関根愛子） ①IFRS 任意適用拡大に向けた我が国の取組み [金融庁総務企画局審議官 古澤知之氏]	30 分	10:30～11:00
	②IASB における会計基準開発の動向 [IASB 理事 鷲地隆継氏]	60 分	11:00～12:00

（休憩 60 分）

セッション 2	③IFRS 表示・開示の実務（日本基準との差異と IFRS に移行するにあたっての留意点） [新日本有限責任監査法人 パートナー 大澤栄子氏]	90 分	13:00～14:30
------------	---	------	-------------

（休憩 20 分）

セッション 3	④パネルディスカッション 「損益計算書の利益情報をどのように開示すべきか」 ●パネリスト ・財務諸表作成者 [三井物産（株）経理部会計基準室室長 近藤 周氏] ・財務諸表利用者 [ニッセイアセットマネジメント（株）チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー 井口譲二氏] ・監査人 [有限責任監査法人トーマツ パートナー 藤本貴子氏] ・基準設定者 [IASB 理事 鷲地隆継氏] ●モデレーター [JFAEL 理事・事務局長 新井武広]	80 分	14:50～16:10

（休憩 20 分）

セッション 4	⑤IFRS 適用企業の経験談 [HOYA（株）財務部 Accounting センtral・マネージャー 田邊るみ子氏]	60 分	16:30～17:30
------------	--	------	-------------

○平成 30 年 3 月 16 日（金） 10 時 30 分～17 時 30 分

セッション 5	⑥IFRS 第 15 号「収益認識」（IFRS の解説、日本基準との相違点、IFRS に移行するにあたっての留意点） [富士通（株）財務経理本部経理部財務企画部マネージャー 坂口和宏氏]	90 分	10:30～12:00
------------	--	------	-------------

（休憩 60 分）

セッション 6	⑦IFRS 適用企業の経験談 [エーザイ（株）経理部 連結経理グループ グループ長 佐川慎一氏] [(株)すかいらーく 取締役執行役員 CFO 財務本部マネージング・ディレクター 北村 淳氏] [トーセイ（株）取締役 専務執行役員 管理部門統括 平野 昇氏]	各社 50 分	13:00～13:50 13:50～14:40 14:50～15:40

（休憩 20 分）

セッション 7	⑧IFRS 第 16 号「リース」（IFRS の解説、日本基準との相違点、IFRS に移行するにあたっての留意点） [有限責任監査法人トーマツ パートナー 白田英生氏]	90 分	16:00～17:30
------------	---	------	-------------

(2) 開催時期 平成 30 年 3 月 12 日 (月) 及び 16 日 (金) の 2 日間

(3) 主 催 一般財団法人会計教育研修機構

(4) 共 催 日本公認会計士協会東海会

(5) 後 援 金融庁、日本公認会計士協会、日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所、
株式会社名古屋証券取引所、一般社団法人日本経済団体連合会、
公益財団法人財務会計基準機構

(6) 開催地・会場

	3 月 12 日 (月)	3 月 16 日 (金)
名古屋	日本公認会計士協会東海会 (定員 80 名) (愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-10 名古屋クロスコートタワー11F) 【共催】日本公認会計士協会東海会 【後援】株式会社名古屋証券取引所	
札幌	札幌証券取引所 (定員 50 名) (北海道札幌市中央区南一条西 5-14-1) 【共催】証券会員制法人札幌証券取引所 【後援】日本公認会計士協会北海道会	
東京	大手町フィナンシャルシティ カンファレンスセンター (定員 250 名) (東京都千代田区大手町 1-9-7 大手町フィナンシャルシティ サウスタワー3階)	海運クラブ (定員 250 名) (東京都千代田区平河町 2-6-4 海運ビル 2 階)
	【後援】日本公認会計士協会東京会	
大阪	大阪国際交流センター (定員 80 名) (大阪府大阪市天王寺区上本町 8-2-6) 【後援】日本公認会計士協会近畿会、日本公認会計士協会京滋会	
神戸	日本公認会計士協会兵庫会 (定員 50 名) (兵庫県神戸市中央区小野柄通 7-1-1 日本生命三宮駅前ビル 8 階) 【共催】日本公認会計士協会兵庫会	
福岡	日本公認会計士協会北部九州会 (定員 50 名) (福岡県福岡市中央区天神 4-2-20 天神幸ビル 5 階) 【共催】日本公認会計士協会北部九州会 【後援】証券会員制法人福岡証券取引所	

※名古屋、札幌、大阪、神戸、福岡地区は、東京地区からライブ配信します。

(7) 参加料 無料 ※1 企業、1 団体から受講できるのは、2 名までとさせていただきます。

(8) 申込方法 ウェブサイトよりお申込みください。

http://www.jfael.or.jp/practical/general/special/jfaelseminar_ifrs2018.php



【お申込み期限】平成 30 年 2 月 28 日 (水)

※お申し込み者多数の場合は抽選となります。

※受講者には、ご登録いただいたメールアドレスに受講票をお送りいたしますので、当日は受講票を印刷のうえ
お持ちください。受講票は、平成 30 年 3 月 1 日からお送りいたします。

(9) 問い合わせ

一般財団法人 会計教育研修機構 事務局 (担当：三船、田中)

Tel : 03-3510-7860 Email: seminar@jfael.or.jp

URL : <http://www.jfael.or.jp/>

以上

ワンストップ特別セミナー
「IFRS の実務、移行経験の共有 2018」お申込書

本申込書に必要な事項をご記入のうえ、E-mail に添付又は FAX にてお申込みください。

なお、お申込書は **1 名様につき 1 枚** ご記入ください。また、1 企業、1 団体から受講できるのは、2 名までとさせていただきます。

【お申込先】 E-mail: seminar@jfael.or.jp / FAX: 03-3510-7866

【お申込み期限】平成 30 年 2 月 28 日（水）

(1) 参加者情報

①参加者氏名	
②会社名・法人名	
③所属部署・役職	
④連絡先 e メールアドレス	
⑤証券コード※	

※証券コードが付されている場合はご記入ください。

(2) 参加希望会場・セッション ※参加を希望する会場・セッションの申込欄に○を付けてください。

○平成 30 年 3 月 12 日（月）開催

セッション	テーマ	会場					
		名古屋	札幌	東京	大阪	神戸	福岡
1	・IFRS 任意適用拡大に向けた我が国の取組み [金融庁 古澤知之氏] ・IASB における会計基準開発の動向 [IASB 理事 鶯地隆継氏]						
2	・IFRS 表示・開示の実務（日本基準との差異と IFRS に移行するにあたっての留意点）[新日本有限責任監査法人 大澤栄子氏]						
3	・パネルディスカッション 「損益計算書の利益情報をどのように開示すべきか」						
4	・IFRS 適用企業の経験談 [HOYA（株）]						

○平成 30 年 3 月 16 日（金）開催

5	・IFRS 第 15 号「収益認識」(IFRS の解説、日本基準との相違点、IFRS に移行するにあたっての留意点) [富士通（株） 坂口和宏氏]						
6	・IFRS 適用企業の経験談 [ユーザイ（株）、（株）すかいらく、トーセイ（株）]						
7	・IFRS 第 16 号「リース」(IFRS の解説、日本基準との相違点、IFRS に移行するにあたっての留意点) [有限責任監査法人トーマツ 白田英生氏]						

●公認会計士及び実務補習生の方は、各セッションについて、以下の単位を取得することができます。

セッション 1	セッション 2	セッション 3	セッション 4	セッション 5	セッション 6	セッション 7
2 単位	2 単位	1 単位	1 単位	2 単位	3 単位	2 単位

※お申し込み者多数の場合は抽選となります。

※受講者には、ご登録いただいたメールアドレスに受講票をお送りいたしますので、当日は受講票を印刷のうえお持ちください。受講票は、平成 30 年 3 月 1 日からお送りいたします。

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナー及び関連するその他のセミナーのご案内に使用いたします。

＜問い合わせ＞ 一般財団法人 会計教育研修機構 事務局（担当：三船、田中）

Tel : 03-3510-7860 / Email: seminar@jfael.or.jp / URL : <http://www.jfael.or.jp/practical/>